

## 2010年度 日本文化人類学会

### 第1回 理事会 議事録(案)

日時：2010年5月30日(日) 14:00～17:30

会場：東京外国語大学・本郷サテライト会議室

出席者：渡邊(欣)、綾部、太田、岡田、小田、鏡味、栗田、佐々木、清水、棚橋、玉置、中川、中谷、名和、森山、渡辺(公)

委任状提出：葛野、栗本、桑山、関根(康)、高倉、三尾

#### 〔承認事項〕

1. 前回(2010年度新旧合同)理事会議事録を承認。
2. 総務会で新入会員の入会を承認し、その後理事会で事後報告する手続きについて再確認した後、新入会員の入会について、総務会で入会を承認したことを報告の上、事後承認。
3. 理事会の開催日について年間計画をたてることを承認。
4. 学会事務局事務員の産休取得と産休期間中のアルバイト雇用を承認。

#### 〔報告事項〕

1. 会長報告
  - ・第1回理事会開催にあたり渡邊会長候補が冒頭挨拶を行なった後、日本学術会議のIUAES加盟について現状を報告。
  - ・前回理事会で総会への推薦が承認された、第24期監事候補者の田中真砂子、小川正恭両氏より監事就任の内諾を得たことを報告。
2. 庶務理事報告
  - ・入会申込書の主要論文・研究歴記入欄に「該当する研究歴あるいは既発表論文がない場合には、現在の具体的な研究テーマをご記入ください」の一文を加えること、年度記入欄を修正することを報告。
3. 会計理事報告
  - ・2009年度決算について、2010年5月20日に第23期監事の石井溥、宮治美江子両氏による監査が実施されたことを報告。
4. 広報理事報告
  - ・研究大会準備委員会より大会参加登録延長に関するJASCA-INFO配信の依頼があり、総務会で承認の上、配信したことを事後報告。今後研究大会の案内については理事会の承認を経ずにJASCA-INFO配信することを提案し、学会ホームページ上に掲載されているJASCA-INFO配信に関する文章の変更案を次回理事会で改めて提案することとした。
  - ・国立民族学博物館の担当者より国際研究フォーラム講演会に関するJASCA-INFO配信の依頼があり、総務会で承認の上、配信したことを事後報告。
  - ・琉球大学から大学学術リポジトリへの論文掲載許諾依頼があったことを報告。これまで本学会の掲載論文等利用許諾基準に沿う依頼であれば広報担当理事が承認していた前例に倣い、今後学術リポジトリへの論文掲載許諾依頼については広報理事が承認した上で、理事会に事後報告することを確認。
  - ・JASCA-NET上でチェーンメール誘発の可能性のある投稿へ情報化委員(JASCA-NET監視担当)が注意を促したことを報告。
5. 各種委員会報告
  - ・『文化人類学』編集委員会：5月30日に編集委員会を開催したことを報告。
  - ・JRCA編集委員会：6月12日に編集委員会を開催予定であること、ジェームス・ロバーソン氏が今年度も引き続きJRCAの英文校閲と学会賞受賞論文の翻訳を行なうことを報告。

- ・民博連携委員会：5月18日に国立民族学博物館において民博連携委員会を開催したこと、民博側に受け皿となる日本文化人類学会連携委員会を立ち上げる方向で検討が進められていることを報告。
  - ・地区研究懇談会担当委員：各地区の研究会開催状況、開催予定を報告。
6. その他
- ・葛野理事（第44回研究大会準備委員長）の代理として、研究大会運営検討委員の栗田理事が研究大会の準備状況について報告。

#### 〔審議事項〕

1. 2010年度事業計画案の策定について
  - ・綾部庶務理事より、資料に基づき、2010年度事業計画案について修正箇所を中心に各項目の説明があり、一部文言を修正の上、次回理事会で最終確認と承認を行なうこととした。
2. 2010年度予算案について
  - ・森山会計理事より、資料に基づき、2010年度予算案について修正箇所の説明があり、次回理事会で最終確認と承認を行なうこととした。
  - ・各地区研究懇談会経費が振込まれる各地区研究懇談会の口座について、これまでは各期末に口座を解約することとしていたが、新規口座開設が困難な場合には以前の口座を引き続き使用することが承認された。また、会計理事を中心に、各地区研究懇談会規約案を策定するための検討を開始することとした。
3. 各種委員会の構成
  - ・綾部庶務理事より、各種委員会の構成について、基本的には23期の委員会を継続すること、「文化人類学教育特別委員会」で新たに若手研究者支援の検討を実施すること、「部会制導入委員会」を「研究グループ制導入検討委員会」へと改称することが提案され、承認された。
  - ・各委員会について、委員の追加を承認した。
4. 民博連携事業の今後のあり方について
  - ・国立民族学博物館と本学会との連携事業の今後のあり方について、「日本文化人類学会と人間文化研究機構国立民族学博物館との連携事業に関する協定」（2008年2月27日締結）と2010年度事業計画案を中心に審議を行なった。
  - ・民博における映像記録の公開については、公開を本学会員に限定するという本学会の提案に対し民博内で異論が出されたことが報告され、審議の結果、学会歴史委員会の監修のもと、民博が映像記録の公開版を編集することとし、その公開版を本学会員に限定することなく一般公開することとした。
  - ・協定については、より包括的な協定に変更することを民博に提案することとし、民博連携委員会が協定文案を作成し、次回以降の理事会で検討を行なうこととした。
  - ・2010年度事業計画の「16-g.国立民族学博物館」の項目については、上記方針に基づき文言の変更を行い、変更箇所については民博連携委員会で次回理事会までに確認することとした。
5. 学会賞の今後のあり方について
  - ・渡邊会長候補より、学会賞の問題点に関する前期理事会からの引継事項を確認したことが報告され、問題点の打開に向けて、7月の理事会で会長提案を行うこととした。
6. 研究大会の運営について
  - ・研究大会運営検討委員の栗田理事より、研究大会発表要旨の査読に関連して、非会員の割合が大きい分科会が成立しないケースが発生するという問題点が報告され、分科会における非会員の発表を制限する必要性について検討を行なった。その結果、これまで通り制限しないこととした。
  - ・J-STAGEによる研究大会の演題登録システム事業が廃止され、同事業の民営化に伴い有料化されることが報告され、同システムを引き続き利用する必要性について検討を行なった。その結果、民営化された演題登録システムの導入を見送ることとし、来年度以降の登録方法については広報・情報化委員会で検討していくこととした。
7. その他
  - ・今年度の理事会開催計画について、事前に各理事から集めたアンケート結果に基づき、開催計画案[2010年7月11日(日)、10月10日(日)、12月18日(土)、2011年2月13日(日)、

3月6日(日)]を承認した。

以上